



令和 8 年度 採択研究課題の概要

| | | | | |
|--|--|---------------|-----------------|---|
| 研究課題名 | 南西太平洋におけるマラリア撲滅及び開発の加速：地域特性に応じた多角的戦略構築に関わる研究 | | 貢献する 主な SDGs |  |
| 研究代表者 (所属機関・役職) | 金子 明 (大阪公立大学 大阪国際感染症研究センター/ 大学院医学研究科 特任教授) | | 研究期間 | 5 年間 |
| 相手国 | パプアニューギニア独立国 | 主要相手国 研究機関 | パプアニューギニア医学研究所 | |
| 研究課題の概要 | | | | |
| <p>パプアニューギニアでは、アジア太平洋地域で最も深刻なマラリア流行が続き、人々の健康と生活が脅かされています。本研究開発では、パプアニューギニアと日本の研究者が協力し、高度流行の背景にある多様な社会・文化、生物・遺伝、気候・生態的因子を探るとともに、革新的な AI 駆動の予測技術や媒介蚊対策、治療法、ワクチンを統合した科学的エビデンスに基づく戦略を作ります。さらに、現地の住民参加、保健人材育成やデータ活用を強化し、費用対効果検証の上パプアニューギニアが自律的、持続的にマラリアを制圧する道筋を見出します。得られた成果はインドネシア・パプア、ソロモン諸島、ヴァヌアツなど周辺国にも広げ、地域全体の健康と安全に貢献することを目指します。</p> | | | | |

| | | | | |
|---|--|---------------|-----------------|---|
| 研究課題名 | シャーガス病対策推進のための統合的なヘルスシステム強化に関する研究開発 | | 貢献する 主な SDGs |  |
| 研究代表者 (所属機関・役職) | 平山 謙二 (長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授) | | 研究期間 | 5 年間 |
| 相手国 | ボリビア多民族国 | 主要相手国 研究機関 | ガブリエルネモレノ自治大学 | |
| 研究課題の概要 | | | | |
| <p>ボリビアでは推定 60～180 万人が、顧みられない熱帯病（NTDs）の一つであるシャーガス病に感染しています。心不全や突然死を引き起こす重篤なこの感染症は、流行状況が把握しにくく、検査・治療へのアクセスも限られ、新薬開発も遅れています。ボリビアでは年間 25 万人の妊産婦のうち約 12%、約 3 万人が慢性感染者であり、母子感染の早期診断・治療は急務です。長崎大学とガブリエルネモレノ自治大学は、まず診断法の普及を第一目標に掲げ、妊産婦登録から乳幼児治療・成人の合併症予防までをデジタルデータで可視化・一元管理します。遺伝子診断や診療データを活用した費用対効果の高い治療指針を策定し、シャーガス病対策の国家プログラム普及と政策立案につなげます。</p> | | | | |

※研究課題の並びは、研究代表者名の五十音順です。